

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日(当事業年度の中間配当の予定はございません)
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.fujipream.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料)

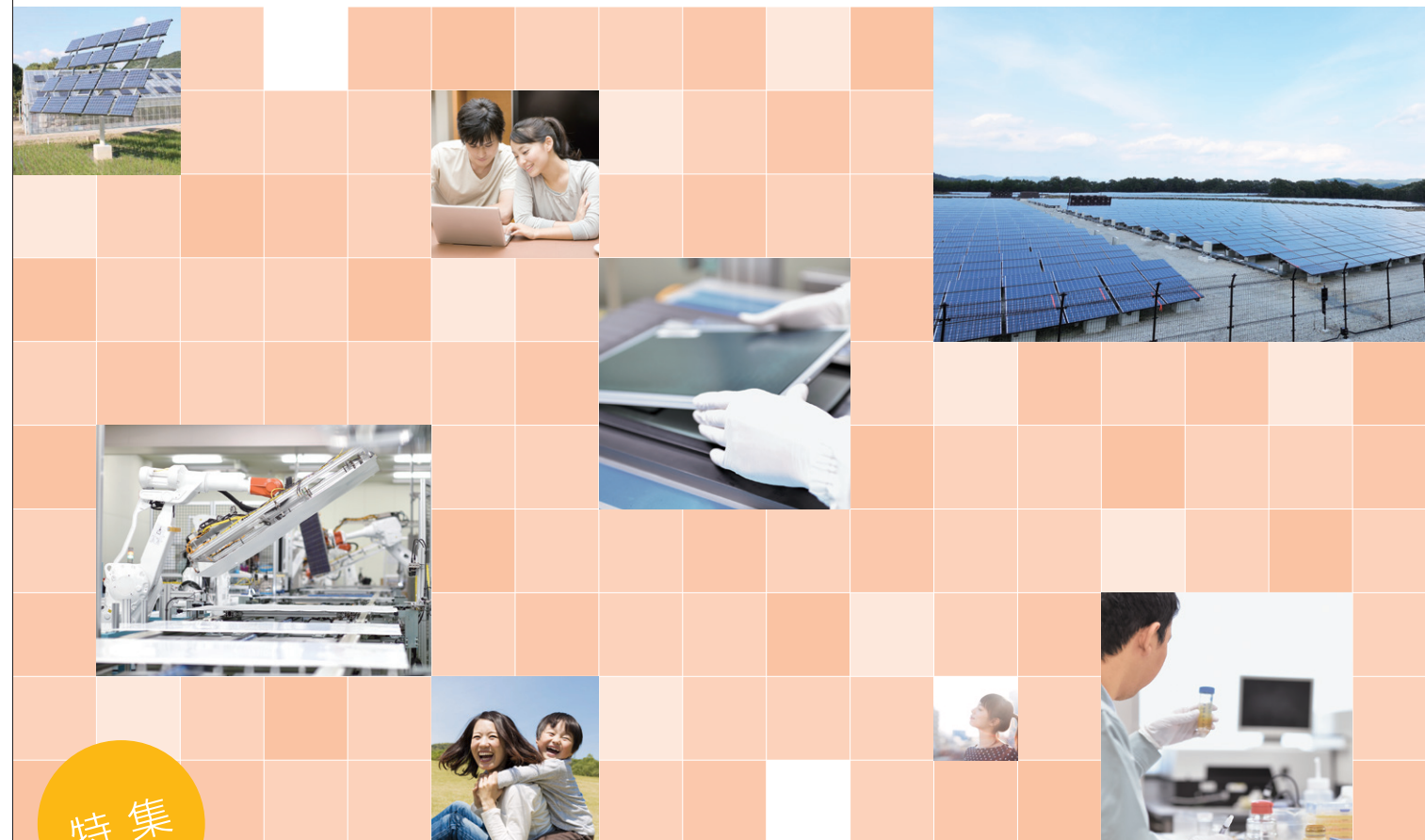
ご注意

- 1 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フジプレアムと社会を結ぶ情報誌

PRE [プレ]

フジプレアムの「プレ」は「先駆ける」、「アム」は「存在」という意味が込められています。この「プレ」をタイトルにした株主通信は、株主の皆様へ適切な経営情報を先駆けてお届けし、フジプレアムと社会との関わりを分かりやすくお伝えするとともに、当社が誇る技術や将来性などをご紹介してまいります。



特集

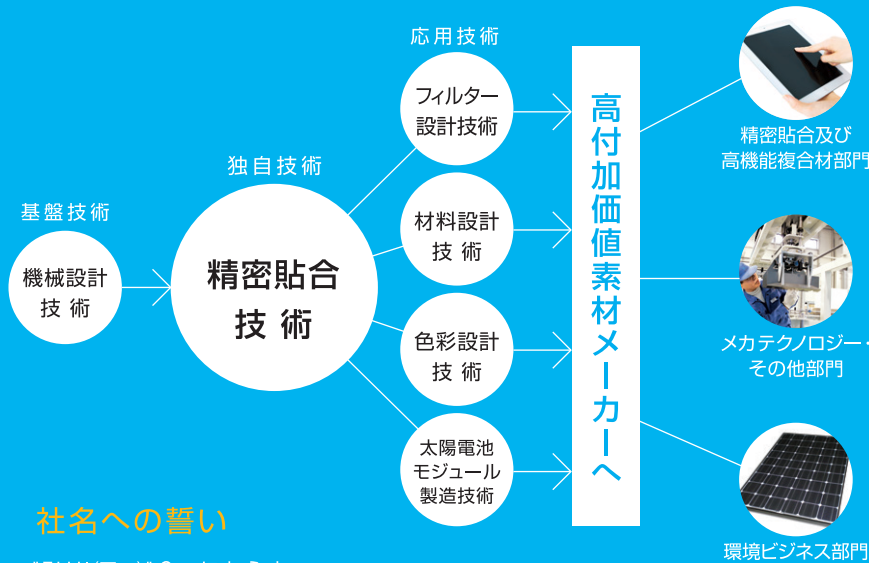
素材をつなぎ、機能をつなぎ、シーズとニーズをつないでいく
機能性素材の複合化から、広がる可能性

不可能への挑戦

フジプレミアムは「不可能への挑戦」を掲げ、未来を切り開く研究開発型企業です。

経営ビジョン

フジプレミアムは、精密貼合技術を活かし、新たな価値を創造する素材メーカーを目指します。



社名への誓い

"FUJI(不二)" 2つにあらず、
"pre" 先駆けて、"am" 存在する企業でありたいと、
常に「不可能への挑戦」を心がけています。

経営理念

「人」は「財」なり、「財」は「人」作りなり
創意、継続は大いなる「財」なり
自然は大いなる「恵」なり。
全てに対して大いなる「感謝」

高度情報化
社会

地球環境
共生社会



光都工場

光都PV工場

100年先の暮らしを照らすため、自らに与えられた使命を果たす。
「共存・共生・共産」の理念で、住みよい社会づくりを目指します。

独自の技術を活かした機能性素材の複合化によって、
新規ビジネスへの取り組みを強化します。

株主・投資家の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素よりフジプレミアムグループの事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第34期（平成28年3月期）第2四半期報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループを取巻くビジネス環境は、政府の経済対策や金融政策を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国の成長鈍化による下振れリスクや、円安の進行による原材料価格の上昇等、先行きは不透明な状況となっております。精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、4Kテレビや裸眼3D等の高付加価値タイプのディスプレイ市場が成長し、また、タッチパネル市場におきましては、中大型の静電容量方式の市場が拡大し、産業用分野や教育分野、そしてアミューズメント分野等に使用される用途が広がっております。このような市場の変化の中、精密貼合技術やダイレクトボンディング技術を活用し、新規生産設備の導入による生産の高度化を実施、更に、独自の技術を活かしたLED関連事業を推進、機能性素材の複合化など、新規ビジネスへの取り組みを強化してまいります。

また、環境ビジネス部門におきましては、太陽電池の国内市場は、平成26年秋、電力各社より再生可能エネルギー発電設備の系統連系接続申込みに対して、回答保留する旨が発表され、また、固定価格買取制度の運用見直しと買取価格の低下により、産業用市場の環境が急激に厳しさを増しました。このような状況に対応すべく、OEM供給品の生産量の拡大、超軽量太陽電池モジュールの更なる拡販、農地や積雪地域をターゲットとした追尾型太陽光発電等の新規システムの開発・販売等の施策を実施してまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。

代表取締役社長 松本倫長



機能性素材の複合化。 その先にあるのは、 単なる素材を超えた、大きなつながり。



異なる素材同士を貼り合わせる技術で、 機能と機能をつないでいく。

今や、ひとつの素材が単体で製品に使われることは、ほとんどありません。先端的なものづくりは、「ある機能を持つ素材を、別の機能を持つ素材と組み合わせ、製品にさまざまな機能や性能を持たせる」というかたちへシフトしています。たとえば、一見シンプルに見えるタッチパネルにも、さまざまな機能性フィルムを何枚も貼り合わせた光学フィルターが使われ、画面の美しさや、指先でのタッチ操作のしやすさ、安全性や耐久性といった、いくつもの機能を同時に実現させているのです。

フジプレアムは、「精密貼合」という、異なる素材を超精密に貼り合わせる技術を磨き上げ、ディスプレイやタッチパネルなどの光学系部品の加工を支えてきました。そして、そ

さまざまな分野において、市場のニーズがますます多様化し、グローバル競争も一段と激しさを増している今。日本のものづくり企業の多くは、市場を一步リードするべく、新たな機能や価値を持つ製品を追求しています。そんな中、私たちフジプレアムは、「機能性素材の複合化」をテーマに、素材と素材、機能と機能をつなぎ合わせ、新たな技術の種(シーズ)と、市場の一步先にあるニーズをマッチングさせる取り組みを進めています。

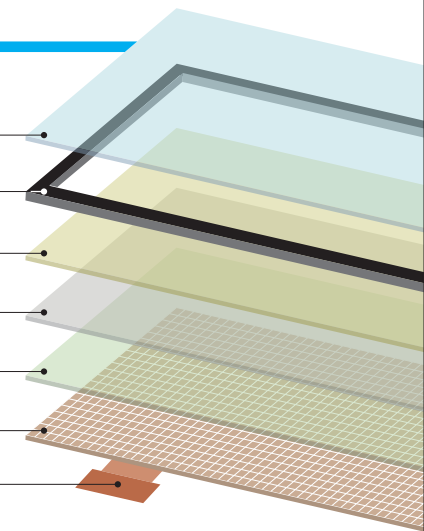
ここで培った技術とノウハウを、光学系のものづくりだけでなく、建材や次世代エネルギーなど、より多くの分野に活かすために、「機能性素材の複合化」をテーマに掲げ、新たな可能性を切り拓こうとしています。

異なる素材同士を貼り合わせる技術で、 機能と機能をつないでいく。

「啐啄同時(そったくどうじ)」という言葉があります。「啐(そつ)」とは、鶏の雛が卵から生まれようとするとき、中から卵の殻をつついてコツコツと音を立てること。「啄(たく)」とは、その音を聞いた親鳥が、外から殻をつついて割り、雛を出してあげること。「啐」と「啄」が同時になされて、はじめて新しいものが世に生まれ出るとい話です。

市場のニーズが多様化している今、フジプレアムのお客様

- 機能性フィルム
- ロゴ付黒枠印刷
- 粘着材(OCA)
- 強化ガラス
- 粘着材(OCA,OCR)
- センサーガラス
- FPC,CB



タッチパネルの「鮮明化」や「大型化」などに活かされる精密貼合技術。この技術をもとに、「機能性素材の複合化」が生み出す価値を、光学系以外のものづくりにも広げていく。

であるものづくり企業も、新たな可能性を切り拓こうと、多岐にわたる研究開発を繰り返しています。私たちは、このようなお客様と刺激を与え合い、情報を交換・共有し合える関係を築くことで、お客様とともに次代へつながる価値を創造していきたいと考えています。

<双方向から可能性を切り拓き、新たな価値の創造へ>

市場のニーズ
お客様からのご相談・ご要望

タイミングとニーズが
マッチしたとき、
新しい価値が生まれる。

フジプレアムの
技術力と提案力

高機能複合化技術の可能性に挑む

～素材をつなぎ、機能をつなぎ、シーズとニーズをつないでいく～

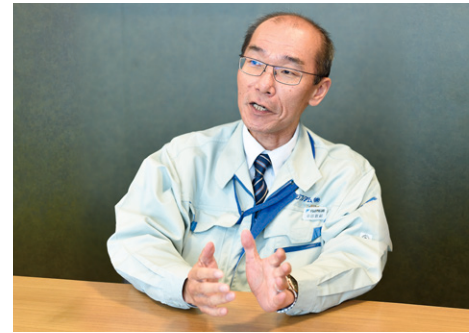
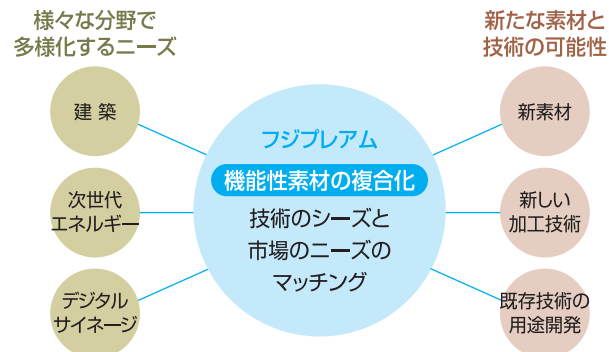
次世代の技術のシーズと、 市場のニーズを、最適なかたちでつなぐ。

フジプレアムの営業部門では、各分野のお客様と綿密なコミュニケーションを図ることで、市場の先にあるニーズを掴むとともに、「この素材とあの素材を貼り合わせるができないか」というように、具体的なお要望やご相談を数多くいただいています。

また、お客様が新たなニーズの開拓に取り組む一方で、精密貼合のもととなる素材そのものも、素材メーカー各社の研究開発によって、次々と改良が加えられたり、新素材が生まれたりという変化が起こっています。こうした素材は、次なる技術革新につながる種（シーズ）となり得る可能性を持っています。

技術のシーズと、市場のニーズ。私たちは、そのどちらとも接点を持ち、日々先端的な情報にふれながら、知識とノウハウを蓄積しています。こうした強みを活かし、新しい技術と多様化するニーズを最適なかたちでマッチングさせていくことも、私たちの重要な役割だと考えています。

<シーズとニーズをつなぐ役割>



執行役員
ファインテック事業部
事業部長 平田 敦嗣

メカトロニクスを駆使した生産技術が、 新技術の開発を、加速させる。

新たな価値を創造するうえで、もうひとつ私たちの大きな強みとなっているのが「生産技術」です。30年以上にわたり、自動包装機械をはじめとする産業用機器の製造・販売に取り組んできたフジプレアムでは、メカトロニクスにおいても独自の技術とノウハウを蓄積しています。それらを貼合に活かすことで、お客様の要望に合わせて生産設備や量産ラインそのものを社内で構築することができます。

新たな素材同士の貼合にチャレンジするときも、自分たち



ニーズに合わせて生産ラインを自在に構築



の手で、生産の仕組みをつくり、検証と改良を重ねていくことができるため、トライ&エラーのサイクルを高速でまわすことができます。この結果、検証できる選択肢の幅も広がり、品質のつくり込みや、開発リードタイムの短縮、開発コストの削減など、多くの面でメリットが生まれています。

また、既存事業であるディスプレイやタッチパネルにおいても、最近では高付加価値を持つハイエンド品をはじめ、多品種少量生産への対応が求められる傾向が強まっています。こうしたニーズに応える際にも、メカトロニクスの技術を活かし、柔軟かつ優位性の高いQCD（品質・コスト・供給）対応力を発揮しています。

既にあるシステムとシステムをつなぎ、 相乗効果と、新たな用途を生み出す。

また、新しい価値を生み出す方法は、決して新しいもの同士をつなぎ合わせることだけではありません。既にあるシステム同士を掛け合わせることで、これまでになかった相乗効果を生み出すことができます。

その象徴的な取り組みとして、フジプレアムではこの冬、



フジプレアム(株) 追尾式太陽電池システム

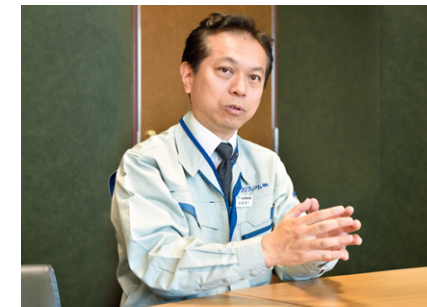


PVG Solutions(株) 両面発電太陽電池システム

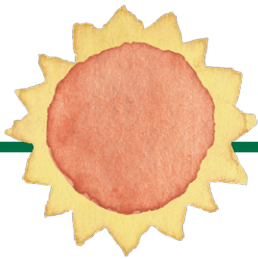
北海道札幌市において、雪を克服する「追尾式両面太陽電池システム」の実証実験に取り組めます。このシステムでは、追尾式の架台により太陽電池パネルを垂直に立てることで電池への積雪を防ぎ、かつ、両面を発電可能にすることで、雪からの照り返しも利用しながら、最大限の発電効果をめざします。追尾式架台と両面発電の相乗効果により、最大1.68倍の発電効果が見込めると試算しています。

太陽を追尾して発電量を高めるトラッキングシステムは、フジプレアムが開発し、既に農地利用などに向けて事業展開しているシステムです。また、両面式の太陽電池についても市場に既にある技術です。しかし、この2つを掛け合わせることで、まったく新しい価値が生まれ、「積雪寒冷地においても再生可能エネルギーの利用を促進する」うえで重要な役割を担うことができると期待しています。

このように、私たちは、単に素材と素材をつなぎだけでなく、機能と機能、技術のシーズと市場のニーズ、既存のシステムと新たな用途など、さまざまな要素をつなぎ合わせることで、ビジネスの可能性を大きく広げていきたいと考えています。



執行役員 営業本部
東京営業本部 部長 清瀬 康生



地域貢献&環境貢献編

「播磨科学公園都市太陽光第1発電所」発電開始

兵庫県では現在、企業庁によって、「再生可能エネルギーの普及拡大」への貢献と、上水道事業や地域整備事業が保有するダムや土地などの「資産の有効活用」を目的に、メガソーラーの整備が進められています。そんな企業庁メガソーラープロジェクトのひとつとして誕生した、「播磨科学公園都市太陽光第1発電所」。フジプレミアムの光都工場のほど近くに開かれた6.0haの土地に、20,000枚を超える太陽電池パネルが整然と並び、一般家庭およそ1,400世帯分の年間使用量に相当する電力の発電をめざして、稼働を開始しました。



20,000枚を超える太陽電池パネルは、息を呑むような圧巻の光景！

太陽光電池システムを事業のひとつの柱とするフジプレミアムでは、地元たつの市の工場で製造した太陽電池パネルを供給し、発電所の実現に大きく貢献しました。この発電所から生まれたクリーンなエネルギーとその売電による収益が、地域の皆様のために活かされていくことを願っています。

播磨科学公園都市太陽光第1発電所

- 設置場所：兵庫県たつの市新宮町光都2丁目
- 設置面積：6.0ha
- パネル枚数：22,208枚
- 発電出力：5,000kW
- 予想発電電力量：約500万kWh/年
(一般家庭約1,400世帯分の年間使用量に相当)

太陽光発電についてわかりやすく解説された看板。発電状況は、企業庁のページでリアルタイムに確認することも可能です。



兵庫県産の木材を使用した木製架台。地場産業と、間伐材の有効利用にも貢献しています。

トピックス Topics

TOPICS 01 第33回 定時株主総会を開催

第33回定時株主総会を下記の通り開催いたしました。
 <日時>平成27年6月26日 10:00～
 <会場>フジプレミアム本社ビル4階 大会議室



TOPICS 02 第24回 フジプレミアム株式会社納涼祭開催

8月1日(土)に第24回納涼祭を開催いたしました。大白書中学校吹奏楽部による演奏に始まり、よさこい、ジャズ、事業部対抗、抽選会と、今年も大いに盛り上がりました。



2015 6 June 7 July 8 August 9 September 10 October

TOPICS 03 北海道コンソーシアム

フジプレミアムが参画するコンソーシアムは、北海道庁「平成27年度 環境・エネルギープロジェクト形成促進事業」及び札幌市「札幌環境・エネルギー技術開発支援事業」に採択されました。

両面太陽電池モジュールを使用した追尾型太陽光発電システムで、年間設備利用率20%を超える太陽電池システムを実証し、積雪寒冷地での再生可能エネルギー利用を促進します。



フジプレミアム(株) 追尾型太陽電池システム



PVG Solutions(株) 両面発電太陽電池システム

※年間設備利用率…年間発電量÷(発電設備容量×365日×24時間)×100
 太陽光発電の年間設備利用率は13%とされています。

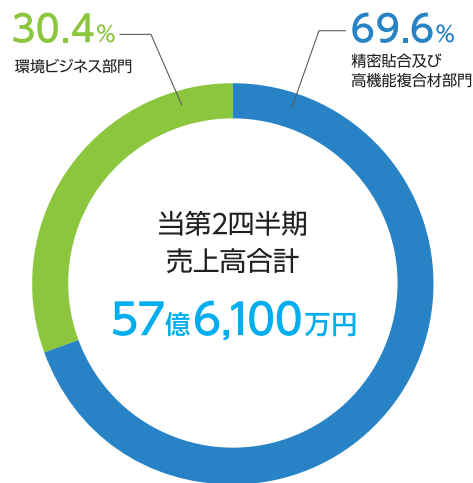
Segment Information

親会社株主に帰属する四半期純利益2億6,500万円確保

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国の成長鈍化による下振れリスクや、円安の進行による原材料価格の上昇等、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、ディスプレイ材料の流通在庫の調整が続いており、低調に推移いたしました。また、環境ビジネス部門におきましては、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の運用見直しの影響を受け、厳しい市場環境となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高5,761百万円（前年同四半期比41.3%減）、営業利益427百万円（同56.7%減）、経常利益442百万円（同55.0%減）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は265百万円（同54.6%減）となりました。



精密貼合及び高機能複合材部門



第34期第2四半期売上高
40億1,100万円

営業利益2億5,300万円

国内外におけるディスプレイ市場は、4Kテレビや裸眼3D等の高付加価値タイプのディスプレイ市場が成長し、また、タッチパネル市場におきましては、中大型の静電容量方式の市場が拡大し、産業分野や教育分野、そしてアミューズメント分野等に使用される用途が広がっております。しかしながら、当社取扱のディスプレイ材料の流通在庫の調整が続いており、当第2四半期において出荷量が低調となりました。このような市場の変化の中、精密貼合技術やダイレクトボンディング技術を活用し、新規生産設備の導入による生産の高度化を実施、更に、独自の技術を活かしたLED関連事業を推進し、新規ビジネスへの取組みを強化してまいりました。

この結果、売上高4,011百万円（前年同四半期比39.9%減）、営業利益253百万円（同62.3%減）となりました。

環境ビジネス部門



第34期第2四半期売上高
17億4,900万円

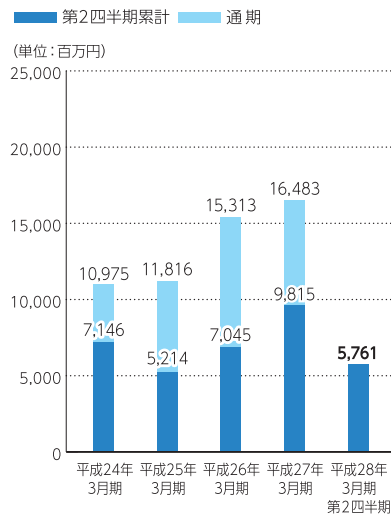
営業利益1億6,600万円

太陽電池の国内市場は、平成26年秋、電力各社より再生可能エネルギー発電設備の系統連系接続申込みに対して、回答保留する旨が発表され、また、固定価格買取制度の運用見直しと買取価格の低下により、産業用市場の環境が急激に厳しさを増しました。このような状況に対応すべく、OEM供給品の生産量の拡大、超軽量太陽電池モジュールの更なる拡販、追尾型太陽光発電システム等の新規システムの開発・販売等の施策を実施してまいりました。

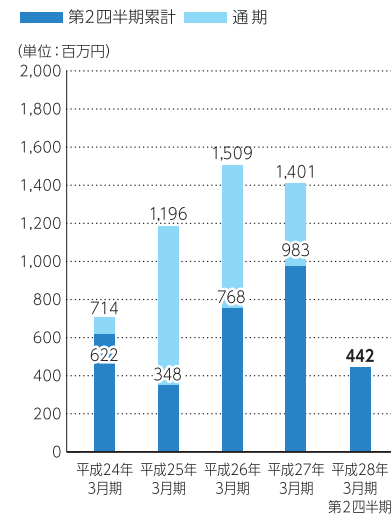
この結果、売上高1,749百万円（前年同四半期比44.4%減）、営業利益166百万円（同48.2%減）となりました。

Financial Highlight

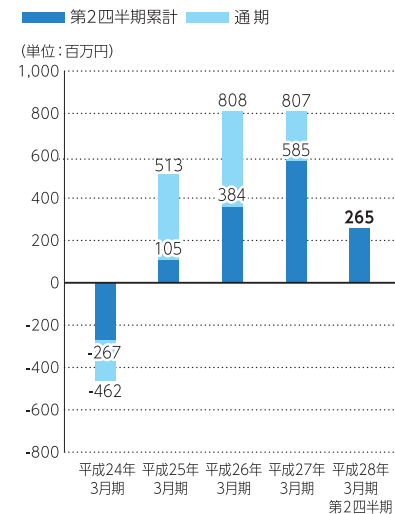
売上高



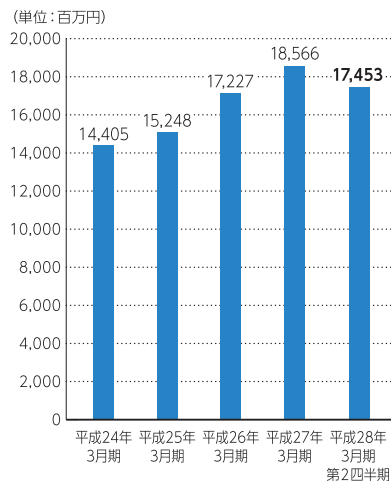
経常利益



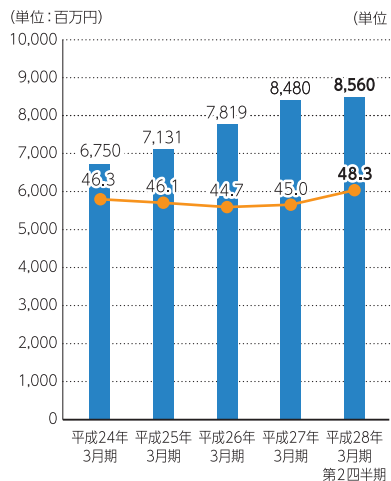
親会社株主に帰属する純利益



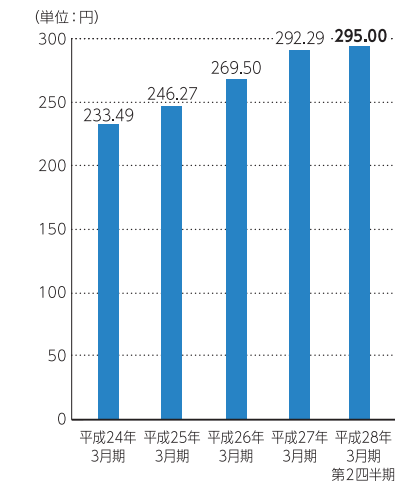
総資産



純資産・自己資本比率



一株当たり純資産



第2四半期 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日)	前連結会計 年度末 (平成27年3月31日)
流動資産	11,164,863	12,250,899
現金及び預金	5,899,758	6,872,197
受取手形及び売掛金	1,645,357	2,556,828
商品及び製品	2,093,364	1,345,865
仕掛品	459,557	307,806
原材料及び貯蔵品	953,279	770,663
その他	116,290	404,336
貸倒引当金	△2,744	△6,797
固定資産	6,289,072	6,315,565
有形固定資産	5,894,379	5,909,371
無形固定資産	6,558	9,408
投資その他の資産	388,134	396,786
資産合計	17,453,935	18,566,465

資産の部

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日)	前連結会計 年度末 (平成27年3月31日)
流動負債	5,853,817	6,198,432
支払手形及び買掛金	1,429,984	1,279,708
短期借入金	2,350,000	2,250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,788,720	2,121,220
未払法人税等	177,015	308,311
賞与引当金	14,856	14,718
その他	93,241	224,473
固定負債	3,039,971	3,887,860
長期借入金	2,877,880	3,712,240
その他	162,091	175,620
負債合計	8,893,788	10,086,292
株主資本	8,395,339	8,301,261
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	4,818,419	4,724,340
自己株式	△863,890	△863,890
その他の包括利益累計額	34,140	50,890
非支配株主持分	130,666	128,021
純資産合計	8,560,146	8,480,173
負債純資産合計	17,453,935	18,566,465

負債の部

純資産の部

第2四半期 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	5,761,345	9,815,942
売上原価	4,834,613	8,282,051
売上総利益	926,731	1,533,891
販売費及び一般管理費	499,148	546,696
営業利益	427,583	987,195
営業外収益	28,629	20,464
営業外費用	13,839	24,143
経常利益	442,373	983,516
特別損失	-	13,683
税金等調整前四半期純利益	442,373	969,832
法人税、住民税及び事業税	161,741	412,373
過年度法人税等	-	△37,794
法人税等調整額	12,458	2,001
四半期純利益	268,173	593,252
非支配株主に帰属する 四半期純利益	2,645	7,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,527	585,469

第2四半期 連結包括利益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
四半期純利益	268,173	593,252
その他の包括利益	△16,750	1,220
その他有価証券評価差額金	△14,896	△1,488
為替換算調整勘定	△1,854	2,709
四半期包括利益	251,422	594,473

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	415,169	1,590,875
投資活動による キャッシュ・フロー	△145,704	△324,568
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,244,531	3,130,330
現金及び現金同等物に係る 換算差額	2,627	△7,199
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△972,438	4,389,438
現金及び現金同等物の 期首残高	6,822,197	3,658,690
現金及び現金同等物の 四半期末残高	5,849,758	8,048,129

Profile

会社概要

(平成27年9月30日現在)

商号 フジプレミアム株式会社
Fujipream Corporation (英)

本社所在地 兵庫県姫路市飾西38番地1

設立 昭和57年4月14日

代表者 代表取締役社長 松本倫長

資本金 2,000百万円

事業内容 精密貼合及び高機能複合材関連事業
環境ビジネス関連事業 他

従業員数 235名(連結、臨時雇用を含む)

営業所及び工場 本社
姫路工場
播磨テクノポリス光都工場／研究所／PV工場
東京営業本部／大阪営業本部

連結対象となる子会社 フジプレ販売株式会社(設立:平成13年4月)
上海不二光学科技有限公司(設立:平成15年9月)

主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行／みずほ銀行

取締役及び監査役

(平成27年9月30日現在)

代表取締役会長 松本 實藏

代表取締役社長 松本 倫長

取締役 名村 信彦

取締役 木村 裕史(社外)

取締役 森田 晃史

常勤監査役 松本 毅(社外)

監査役 瀧元 一(社外)

監査役 神原 丘(社外)

株式の分布状況

(平成27年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数.....105,000,000株
発行済株式の総数.....29,786,400株
株主数.....4,552名

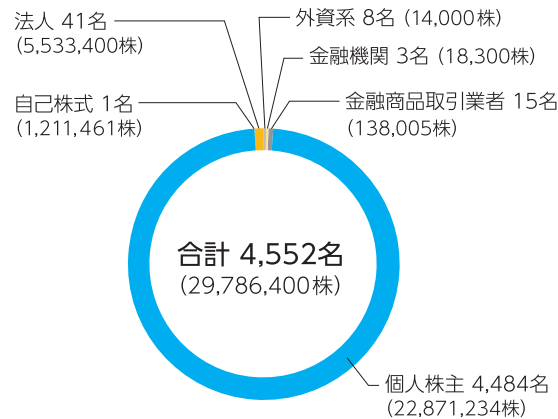
大株主の状況

(平成27年9月30日現在)

松本 實藏.....11,705,700株
松本 倫長.....2,441,400株
松本 庄藏.....1,854,000株
東レ株式会社.....1,560,000株
日亜化学工業株式会社.....1,425,000株
フジプレミアム株式会社.....1,211,461株
旭硝子株式会社.....936,000株
リンテック株式会社.....936,000株
ジェイアンドエム株式会社.....475,500株
松本 春代.....360,000株

株式分布状況

(平成27年9月30日現在)



HARIMA - TAMBOU

播磨探訪

日本三大酒処のひとつである兵庫県。実は、播磨が「日本酒のふるさと」であることをご存知でしょうか。今から1300年前、奈良時代に編纂された『播磨風土記』には、初めて麴を使ったお酒づくりを行ったといわれる記述があり、今の日本酒の製造方法は、播磨が起源であることが明らかになっています。

また、播磨には酒蔵が多く点在しており、なんとその数が20以上。これほどに、お酒づくりが長く栄えてきた理由は、播磨が「山田錦」誕生の地であること。最高級の酒米と呼ばれる「山田錦」は、大正12年に誕生し、播磨は全国生産量の8割を占める最大の産地でもあるのです。そんな歴史が詰まった播磨の日本酒。ぜひ、味わいに出かけてみてはいかがでしょうか。

vol.30

最高級の酒米「山田錦」誕生の地

個性豊かな酒造が数多い 日本酒のふるさと 播磨

蔵元を訪ねて、播磨の地酒を味わう。

株式会社 本田商店

〒671-1226 兵庫県姫路市網干区高田361-1
TEL.079-273-0151

酒屋、問屋を経て大正10年に蔵元を創業した「本田商店」。代表銘柄の「龍力・米のささやき」は、全国新酒鑑評会で金賞を5年連続受賞。国内外で名譽ある賞を受賞し、世界にその名を広めています。



何よりもこだわっているのが、「素材」。「米の酒は米の味」の考えのもと、兵庫県でも厳選された、特A地区の山田錦を贅沢に使用しています。



もっと多くの人に、日本酒に親しんでほしいという願いから生まれた「ドラゴンシリーズ」。素材へのこだわりはそのままに、日本酒のイメージを一新するアイデアが込められています。

灘菊酒造株式会社

〒670-0972 兵庫県姫路市手柄 1丁目121
TEL.079-285-3111

明治43年に創業し、平成22年に100周年を迎えた「灘菊酒造」。高品質を目指すため、500kgの小仕込みとし、全国でも数少ない女性社氏を中心に、伝統的な手作業でのお酒づくりに励んでいます。



約3000坪の敷地に、昭和30年代まで使用していた創業当時の木造酒蔵が現存。貴重な佇まいをひと見ようと、一年を通して多くの見学者が訪れます。



姫路城の世界文化遺産登録を機に、お食事処を多数展開。「お酒と食文化のハーモニー」をモットーに、木造酒蔵を改装した風情ある空間で、酒造ならではの料理が楽しめます。

